

ピュアスタットが有用であった 出血性colorectal angiodysplasiaの一例



千葉大学医学部附属病院
消化器内科
診療講師

沖元 謙一郎 先生

症例動画



<https://youtu.be/N2eCNs0Bsuo>

診断 colorectal angiodysplasia

患者背景 症例は、大動脈弁置換術後の80歳台の女性。エドキサバントシル酸水和物15mgとプレドニゾロン2.5mgを服用中であった。慢性貧血の原因検索目的に便潜血試験が実施され、陽性であったため、下部消化管内視鏡検査施行。盲腸に漏出性出血を伴うangiodysplasia(AD)を認めた(Figure 1)。

治療内容 出血部位にピュアスタットを塗布して止血が得られた(Figure 2)。ピュアスタットが先端フードと接触した際にピュアスタットの一部が剥がれ落ちたが、残存したピュアスタットにより、止血は持続した(Figure 3)。ピュアスタットを追加で塗布し、手技を終了した(Figure 4)。

術後経過 その後、再出血はなく、Hbは、経口鉄剤単独で、止血前の7.7g/dLから9.5g/dLに増加した。

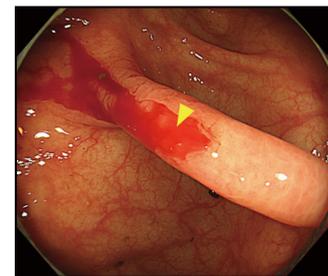


Figure 1

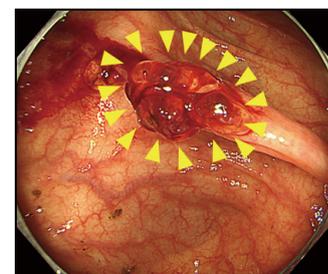


Figure 2

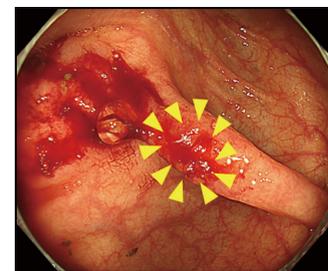


Figure 3

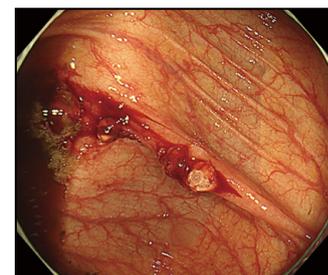


Figure 4

Tips

- ▶ 出血点のカテーテルを押し当てピュアスタットを塗布する事で速やかに止血が得られた。
- ▶ 本症例のように剥がれ落ちたとしても少量のピュアスタットがゲル化すれば止血が得られる。
- ▶ 一度に多量に使用するのではなく、軽度膨隆させるように塗布するのがTipsである。

使用所感

- ▶ ADに対してアルゴンプラズマ凝固(APC)が広く使用されているが¹、穿孔も報告されている²。
- ▶ ピュアスタットによる止血はAPCと異なり熱による組織障害がなく、本症例のように壁の薄い大腸において特に有用性が高いと思われた。



1. Kwan V, Bourke MJ, Williams SJ et al. Argon plasma coagulation in the management of symptomatic gastrointestinal vascular lesions: experience in 100 consecutive patients with long-term follow-up. Am J Gastroenterol 2006; 101: 58-63.

2. Wahab PJ, Mulder CJ, den Hartog G et al. Argon plasma coagulation in flexible gastrointestinal endoscopy: pilot experiences. Endoscopy 1997; 29: 176-181.

ピュアスタット®

医療機器承認番号: 30200BZX00236000
 医療用品(4) 整形用品
 高度管理医療機器
 吸収性局所止血材 JMDNコード: 35895100

【禁忌・禁止】

<適用対象(患者)>

1. ペプチド製剤又はタンパク質製剤に対し、過敏症の既往歴がある者

<適用対象(部位)>

1. 血管内への適用【塞栓を引き起こす恐れがあるため。】

<使用方法>

1. 再使用禁止
2. 再滅菌禁止【臨床使用における再滅菌を意図しておらず、また、本品は熱で劣化する可能性があるため。】

【形状、構造及び原理等】

本品はプレフィルドシリンジ形態の止血材で、澄明なペプチド水溶液がシリンジに充てんされた後、滅菌されている。

本品は、血液等の体液との接触により、ペプチド水溶液(酸性)が中性化されるもしくは塩が供給されることで、β構造を有するペプチド分子が水溶液中でファイバー形成し、ペプチドハイドロゲルとなる。このペプチドハイドロゲルが速やかに出血点を被覆することで止血する。



【使用目的又は効果】

消化器内視鏡治療における漏出性出血に対して、止血鉗子による焼灼回数の低減を目的として使用される吸収性局所止血材である。

【使用方法等】

1. 使用前

使用前にパッケージとシリンジに破損及び液漏れ等がないことを確認する。何らかの破損等が認められる場合は使用を止める。

2. 使用方法

- (1) 血液をできる限り除去する。
- (2) 本品を消化器内視鏡用カテーテルに接続し、経カテーテル的に出血部に適当な量を塗布し、止血が完了するまで本品の塗布を数回繰り返す。
- (3) 止血後、余剰分のペプチド水溶液を必要に応じて除去する。

3. 使用后

余剰分は容器とともに廃棄する。

<使用方法等に関する使用上の注意>

1. 最大使用量20mLを超えて使用しないこと(20mL以上使用した時の安全性は確認されていない)。
2. 付属品のノズルは臨床使用しないこと。

【使用上の注意】

<使用注意(次の患者又は部位には慎重に使用すること)>

1. 本品にて止血を得られなかった場合には、速やかに止血鉗子等の代替止血処置にて止血すること。
2. 本品を抗凝固剤服用患者に使用する際には、慎重に使用すること。
3. 胆汁及び胆汁の漏出を伴う部位においては、有効性及び安全性が確認されていないため、慎重に使用すること。

<重要な基本的注意>

1. 拍動性及び噴出性出血には使用しないこと(有効性及び安全性が確認されていない)。
2. 本品を血液凝固不全に対する主たる止血材として使用しないこと。
3. 本品の使用の際、汚染しないよう十分注意すること。
4. 開封後は汚染防止のため速やかに使用すること。
5. 使用に際しては無菌的に取扱うこと。
6. 本品のゲル化にてカテーテルが詰まった場合は、体内よりカテーテルを抜き取りガーゼ等で本品を除去し、必要に応じてフラッシングを行い、詰まりがないことを確認し使用すること。

<不具合・有害事象>

本品の使用に伴い、以下のような不具合・有害事象の可能性はある。但し、これに限定されるものではない。

1. 尿酸値上昇
2. 肝機能異常(AST、ALT、ALP)
3. 本品の低pHに起因する炎症、又は血球成分の障害
4. 本品に起因する血栓塞栓症

<妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用>

妊娠中の使用あるいは小児等に関する安全性は確立していないため、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人、若しくは小児等には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合のみ使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法: 冷蔵保存(2~8℃)

有効期間: 3年(使用期限は包装に表示)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元: 株式会社スリー・ディー・マトリックス

住所: 東京都千代田区麹町3-2-4 麹町HFビル

電話番号: 03-3511-3440



※廃棄は医療用産業廃棄物として自治体の廃棄処理方法に従い廃棄する。

※本ページの注意事項等情報等は、電子化された添付文書の抜粋であり、内容については電子化された添付文書を優先する。

電子化された添付文書



株式会社スリー・ディー・マトリックス

住所: 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-2-4 麹町HFビル

電話番号: 03-3511-3440

製品ご使用の際は、添付文書あるいは取扱説明書をご確認ください。

3-D Matrix, Ltd. All rights reserved. All trademarks are property of their respective owners.

3D MATRIX
 MEDICAL TECHNOLOGY